



27. 11. 20  
統合幕僚監部

(お知らせ)

### ロシア海軍艦艇の動向について

11月9日(月)から11月20日(金)にかけて、海上自衛隊第5航空群所属「P-3C」(那覇)、第1海上訓練支援隊所属「くろべ」及び「てんりゅう」(呉)が、南西諸島周辺海域で、数日間にわたる往復航行、錨泊、一部我が国接続水域内での航行等の活動をするロシア海軍スラバ級ミサイル巡洋艦1隻、ソブレメンヌイ級ミサイル駆逐艦1隻、ボリスチリキン級補給艦1隻、イングル級救難えい船1隻を確認した。その後、20日(金)午前中に、当該艦艇4隻が同海域を離れ、南下したことを確認した。

なお、当該艦艇4隻は、11月4日(水)に対馬海峡を南下したものと同一である。

スラバ級ミサイル巡洋艦(011)(錨泊中)



ソブレメンヌイ級ミサイル駆逐艦(715)(錨泊中)



ボリスチリキン級補給艦(BORIS. BUTOMA)(錨泊中)



イングル級救難えい船(ALATAU)(錨泊中)



錨泊中のボリスチリキン級補給艦(BORIS. BUTOMA)(右)  
及び錨泊中に洋上補給中のスラバ級ミサイル巡洋艦(011)(左)



宮古島北東海域で錨泊中のロシア艦艇4隻



艦載ヘリコプター(KA-27)発着艦作業中の  
スラバ級ミサイル巡洋艦(011)(11月17日撮影)



飛行中の艦載ヘリコプター(KA-27)



(海上自衛隊撮影)